

対象学科	ウエディング科	
対象学年	3 学年	科目名
		ブライダルジュエリーA
		講義・演習・実技・実習
		担当名
		北沢聡子
		単位/時間数
		2単位 30時間

到達目標	婚礼に使われるジュエリーとアクセサリーについて例示し、語彙力を付け宝石についての知識と興味を持って美しいイメージを顧客に持ってもらえるような接客力を発揮し、知識を持ってジュエリーショップに就職も視野に入れる
学習内容	最大手のメーカーでドレスのデザイナー・関連小物の企画、ドレスコーディネーターを勤めてきた講師が長年にわたり収集した世界中の王家・名門貴族・セレブリティのジュエリー画像、世界の流行を変えたジュエリー、ハイブランドの特徴や日本のブランドの画像をふんだんに使いながらジュエリーの世界を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノートを取りなるべく本物を見るように提示された場所に行ってみる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルジュエリーの種類と宝石の知識の重要性	講師資料	自分の誕生石を調べる
2	フォーマルウェアと宝石、欧米諸国と日本の違い	講師資料	授業復習
3	誕生石について学びながら基本知識を深める	講師資料	授業復習
4	ダイヤモンドについて	講師資料	婚約指輪の理想を考える
5	婚約指輪・結婚指輪について	講師資料	結婚指輪の理想を考える
6	5大ジュエラーとグランサンク	講師資料	ヴァンドーム広場を検索する
7	世界のハイブランドと日本のブランド	講師資料	授業復習
8	世界のティアラ・ティアラを着ける効果	講師資料	授業復習
9	パリュールについて	講師資料	授業復習
10	ブライダルジュエリーをデザインしてみよう	講師資料	授業復習
11	日本が世界に誇る真珠について	講師資料	授業復習
12	ドレスにブライダルジュエリーを合わせてみよう	ブライダルインナー	授業復習
13	模造宝石の進化と市場	講師資料	授業復習
14	最近のブライダルジュエリーの傾向	講師資料	試験勉強
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	カリグラフィー入門A/B
	科目名	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名 阿部 英衣
		単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	カリグラフィーの基礎的な知識を学び、花嫁様の希望を叶えるウェディングアイテムを作ることができるようにする。
学習内容	カリグラファーによるハイクオリティのウェルカムボードを作る技術の演習。文字を書くという手仕事を通じ、個性の表現を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	カリグラフィー道具の持参/授業内容に応じて自宅学習有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	道具の使い方と書体の特徴	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
2	小文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
3	小文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
4	大文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
5	大文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
6	数字の書き方と小文字・大文字のチェックテスト	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
7	カード作り(Groom・Brideカード)	テキスト(当日配付)	
8	平筆の使い方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
9	平筆の使い方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
10	ミニウェルカムボード作り1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
11	ミニウェルカムボード作り2		
12	ウェルカムボード作り1		授業内容に応じて自宅学習
13	ウェルカムボード作り2		授業内容に応じて自宅学習
14	ウェルカムボード作り3		授業内容に応じて自宅学習
15	ウェルカムボード作り4(定期試験作品提出)		

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	科目名
		トータルビューティA/B
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名
		岡永めぐみ
		単位/時間数
		2単位 60 時間

到達目標	アクセサリーという挙式でなくてはならないアイテムを基本的な知識から学ぶ。工具や様々なアイテムの使い方、また既存の修復方法等、現場でアクセサリー関係のアクシデントがあった時に対応ができるようにする。 また近年の和装人気に対応できるように水引の結び方もマスターし、小物が作れるようになる
学習内容	色彩におけるありとあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、基本的な工具の使い方から既存のアクセサリーの修理・修復ができるようにする。 また、水引の基本的な結び方を学び、小物が作れるようになる
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	爪が長すぎると作業がしにくいいため少しカットしておくことをお勧めします また、自分で持ってくるアクセサリーで使いにくいものや金具が壊れているものを持参してもらえると自分で直すことができます

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	工具の使い方・アイテムの紹介	講師が用意した資料	
2	天然石のリング作成(デスクを使う作業)	講師が用意した資料	
3	天然石のリング作成(デスクを使う作業)	講師が用意した資料	
4	天然石のリング作成(デスクを使う作業)	講師が用意した資料	
5	ピン・Tピン・丸カンなどの使い方・いろいろな素材紹介	講師が用意した資料	
6	ピン・Tピン・丸カンなどの使い方・いろいろな素材紹介	講師が用意した資料	
7	ネックレス作成(9ピン・Tピン・丸カン作業)	講師が用意した資料	
8	ネックレス作成(9ピン・Tピン・丸カン作業)	講師が用意した資料	
9	水引の歴史紹介・水引の扱い方	講師が用意した資料	
10	水引の歴史紹介・水引の扱い方	講師が用意した資料	
11	炎路結び・菜の花結び(ピアス作成orイヤリング作成)	講師が用意した資料	
12	炎路結び・菜の花結び(ピアス作成orイヤリング作成)	講師が用意した資料	
13	水引(玉結びでネックレスorピアスorイヤリング)	講師が用意した資料	
14	水引(玉結びでネックレスorピアスorイヤリング)	講師が用意した資料	
15	試験前確認、試験	講師が用意した資料	

対象学科	ウェディング科			
対象学年	3 学年	科目名	トータルビューティA/B	担当名 岡永めぐみ
			講義 ・ 演習 ・ <u>実技</u> ・ 実習	単位/時間数 2単位 60 時間
到達目標	骨格診断の理論(ストレート・ウェーブ・ナチュラルの特徴)を理解し、自身及び他者の体系特性を客観的に分析できる力を養う さらに、似合う素材・シルエット・着こなしを論理的に説明し、日常のコーディネートや提案に応用できることを目標とする 感覚だけに頼らず、根拠を持って判断、提案できる力の習得を目指す			
学習内容	色彩や骨格診断の資格を複数所有している講師が、骨格診断の基本理論としてストレート・ウェーブ・ナチュラルの3タイプの特徴を実践に交えながら実施する。各タイプに似合う素材・シルエット・アイテムの違いを具体例とともに理解し、実際に自分や他者の骨格を観察・分析する演習を行う。さらに、診断結果をもとにコーディネートへ落とし込む方法を学び、理論と実践を結びつける			
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする			
履修に当たっての留意点	診断を行う際に、身体に軽く触れることがありますので抵抗尾のある方は事前に教えてください			

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
16	自己紹介・骨格診断の概略	講師が用意した資料	
17	骨格診断のタイプ別特徴	講師が用意した資料	
18	骨格診断のタイプ別特徴	講師が用意した資料	
19	アイテム別に合わせ術1	講師が用意した資料	
20	アイテム別に合わせ術2	講師が用意した資料	
21	アイテム別に合わせ術3	講師が用意した資料	
22	アイテム別に合わせ術4	講師が用意した資料	
23	ファッションタイプを知る	講師が用意した資料	
24	ファッションタイプを知る	講師が用意した資料	
25	自分に似合うファッションスタイル(プライベート編)	講師が用意した資料	
26	自分に似合うファッションスタイル(プライベート編)	講師が用意した資料	
27	自分に合うファッションスタイル(ブライダル編)	講師が用意した資料	
28	自分に合うファッションスタイル(ブライダル編)	講師が用意した資料	
29	自分に合うファッションスタイル発表・試験前確認	講師が用意した資料	
30	試験	講師が用意した資料	

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	レストランサービス技能検定対策講座Ⅰ
		講義	・演習・実技・実習
		担当名	田島 史雄
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	教科書に沿い、レストランサービスの知識を深く学ぶ 国家検定レストランサービス技能士3級に合格する
学習内容	技能グランプリ出場経験のある講師がレストランサービスの知識を解説。演習ではブ 口として必要な技術や心構えを、座学では検定対策と共にレストラン営業でも即、役 に立つ知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	スーツ着用、身だしなみを整えて出席

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション/食品/西洋料理に使用される主な食材/+	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
3,4	一般的な西洋料理調理法/飲料の種類および特徴 ワイン	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
5,6	一般的な西洋料理調理法/飲料の種類および特徴 ビール～ミネラルウォーター	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
7,8	メニュー/西洋料理の食事用具・備品	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
9,10	接客の基本/宴会とレストランサービス 宴会	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
11,12	宴会とレストランサービス レストラン、客席案内、注文、テーブルサービス	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
13,14	調理の仕上げ、予約解約、メニュー管理、 一般的な救護方法	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
15,16	第11節食事のサービスマナー 第12節食事の国際習慣	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
17,18	第4章食文化 第5章施設管理 教科書全範囲復習	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
19,20	教科書全範囲復習	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
21,22	検定試験解答確認	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
23,24	お客様へのメニュー解説 西洋料理の食事用具・備品	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
25,26	お客様への接客の基本 宴会とレストランサービス 宴会	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
27,28	お客様への レストラン、客席案内、注文、テーブルサービス	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
29,30	お客様への 食事のサービスマナー 食事の国際習慣	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	レストランサービス技能検定対策講座Ⅱ
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名 田島 史雄 単位/時間数 4単位 60 時間

到達目標	教科書に沿い、レストランサービスの知識を深く学ぶ 国家検定レストランサービス技能士3級に合格する
学習内容	技能グランプリレストランサービス職種に出場経験のある講師がレストランサービスの知識を解説。演習ではプロとして必要な技術や心構えを、座学では技能検定対策と共にレストラン営業でも即、役に立つ知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	スーツ着用、身だしなみを整えて出席 教科書、筆記用具、ノート持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	レストランサービスについて(実技)		
3,4	レストランサービスについて(実技)		
5,6	レストランサービスについて(実技)		
7,8	レストランサービスについて(実技)		
9,10	レストランサービスについて(実技)		
11,12	レストランサービスについて(実技)		
13,14	レストランサービスについて(実技)		
15,16	レストランサービスについて(実技)		
17,18	レストランサービスについて(実技)		
19,20	レストランサービスについて(実技)		
21,22	レストランサービスについて(実技)		
23,24	レストランサービスについて(実技)		
25,26	レストランサービスについて(実技)		
27,28	レストランサービスについて(実技)		
29,30	定期試験		

対象学科	ウエディング科				
対象学年	3 学年	科目名	アテンド・キャプテン・司会実践A/B	担当名	唐橋 誠治
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『婚礼におけるアテンド・キャプテンの動きと司会の役割と技術について学ぶ』 施行スタッフとして、事前準備や当日運営に必要な知識と技術を学び、結婚披露宴の1日を組み立て運営出来る力を身に付けさせる。特にHWプログラムを検討する学生は実際に使用する第二校舎3F(リュミエール)にて当日の運営に役立せる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(アテンダー・CAP・司会など)の動き方を実際にHWが施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4. 0 90点～100点 B － 3. 0 80点～89点 C － 2. 0 70点～79点 D － 1. 0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】受付・クロークについて 【動画】過去のハウスウェディング、サービス全般1日の流れ お客様の動き・スタッフ導線を確認	プリント受付編①	
3,4	【座学】ホワイエでの振る舞い、食前酒やドリンクについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯①(講師主導)	プリントホワイエ編②	
5,6	【座学】料理アレルギーについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯②(学生主導)	プリント料理アレルギー③	
7,8	【座学】披露宴スタートからお色直しまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀①(講師主導)	プリント披露宴スタートから④	
9,10	【座学】お色直しからお見送りまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀②(学生主導)	プリント料理・アレルギー⑤	
11,12	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)① 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)		
13,14	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)② 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)		
15,16	【座学】役割決定、アテンダー、キャプテン、司会等 Aチームリハ披露宴前半部分		
17,18	Bチームリハ披露宴前半部分		
19,20	Aチームリハ披露宴後半部分		
21,22	Bチームリハ披露宴後半部分		
23,24	振り返り、準備		
25,26	模擬披露宴本番(Aチーム)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
27,28	模擬披露宴本番(Bチーム)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
29,30	定期試験(座学で学んだ内容)		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	接遇介助士ホスピタントA	担当名	小田切 妙
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間
到達目標	”接遇介助(高齢者、妊婦、障害者など)を適切に行えるようになる。ウェディング・ホテル接客スキルの一環として習得する。 ※「接遇介助士ホスピタントアソシエイト3級」合格を目指す”☑				
学習内容	相手の状況や心理状態学びながら、お客様への適切な声掛けやコミュニケーションを行えるように実践的な学習を行う。接客時や日常生活における適切なサポート方法を学ぶ。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	接遇介助士ホスピタントの必要性と資質	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
3,4	ホスピタントマナーの理解 ヒューマンティの概念	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
5,6	QOLの発表 お客様心理の理解	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
7,8	ポジティブワードの会話とは 5つの視点	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
9,10	ロールプレイング(5つの視点) Global Security・個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
11,12	オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン ロールプレイング(クエスチョン)	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
13,14	これまでの振り返り	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
15,16	お客様に合わせた 接客・介助・サービス	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
17,18	実技①(5人1組)個性の理解 実技②(5人1組)個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
19,20	プレゼンテーション 実技③(2人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
21,22	個性に合わせた接客・接遇 実技④(5人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
23,24	実技⑤(5人1組)デモンストレーション 多様性を理解する	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
25,26	お客様を守る接客	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
27,28	前期・後期の振り返り 模擬試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
29,30	定期試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	

対象学科	ウェディング科			
対象学年	3 学年	科目名	カウンセリングロールプレイA	担当名 中村 恵理
		講義	・演習・実技・実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	カウンセリングの必要性を知り、潜在的な要望を聞き出すための手法を実践を踏まえながら実施する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在活躍している教員が、日常の場面でのカウンセリングシーンや婚礼で求められるカウンセリングの意味をロールプレを通して伝える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	人(相手)に興味を持つこと。社会に出てからすぐに実践できるように言葉づかいにも気をつけること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション カウンセリングとヒアリングの違いとは	筆記用具	
2	カウンセリングの基礎①聴く力	筆記用具	
3	カウンセリング基礎②共感と感情の言語化	筆記用具	
4	カウンセリング基礎③質問の技法	筆記用具	
5	カウンセリング体験	筆記用具	
6	カウンセリング実践①新婦の不安	筆記用具	
7	カウンセリング実践②新郎が無関心	筆記用具	
8	カウンセリング実践③親御様の意見が強い	筆記用具	
9	スタッフ間連携の必要性	筆記用具	
10	カウンセリング応用①価値観のヒアリング	筆記用具	
11	カウンセリング応用②曖昧な言葉を具現化する	筆記用具	
12	新規接客カウンセリング	筆記用具	
13	打合せ接客カウンセリング	筆記用具	
14	新郎新婦が望む理想の接客スタイルを考える	筆記用具	
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科			
対象学年	3 学年	科目名	ソムリエ・バーテンダーA/B	担当名 唐橋 誠治
		講義	演習・実技・実習	単位/時間数 4単位 60 時間

到達目標	『ワイン・バーサービス・料飲の知識 カクテルを学ぶ』ワインの最低限の産地とブドウ品種を知る。パーテンダーの基本動作、シェイクとステアが出来るようになる。オーソドックスなカクテル名とレシピを知り、料飲知識（テーブルマナーや大人の教養を身に着ける）
学習内容	JSAソムリエ・HBAビバレッジアドバイザーの資格を有し、一流ホテル当でのレストラン責任者の経験を有する講師が担当。座学と実技にてお酒全般の知識を身に着ける。1コマ目の座学で知識を知り、2コマ目に実際に触れる、体験する、やってみる、創作することをして学習します。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	飲材の仕入状況により、実技内容が変更することもあります。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】ワインの製造方法を知る。各ボトルの説明 ワインの産地(旧世界)(ニューワールド) 【実技】ワイン抜栓、ソムリエナイフの使い方、デカンタージュ	デカンター、ソムリエナイフ	
3,4	【座学】ワインのクイズプリント ブドウ品種とワイン用語 【実技】ミネラルウォーターの飲み比べ (ワインテイスティング方法を水で習得する)	クリスタルカイザー・エビアン・ コントレックス	
5,6	【座学】カクテルのクイズプリント 有名カクテル名を知る 【実技】赤ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショールージュ)	赤ワイン・グラニュー糖	
7,8	【座学】ミニテスト ①(赤ワイン・白ワイン・スパークリング・ワイン全般の問題) 【実技】スクイザーを使用したフレッシュレモンスカッシュを作る	レモン・グラニュー糖・炭酸水 (ミキシンググラスで造る)	
9,10	【座学】②日本酒の起源、精米歩合、酒造好適米、日本三大酒 処 【実技】たまごと牛乳とガムシロを使用したカクテル	ミルクセーキ (シェイカー)	
11,12	【座学】③ウイスキーの起源、5大ウイスキー産地、バーボンとは 【実技】ノンアルコールカクテルシンデレラ作り	シンデレラ(シェイカー) (フレッシュカットパイナップル、フレッシュオレンジ、フレッシュレモン使用)	
13,14	【座学】④お茶とお水の問題について 【実技】ハンドブレンダー	フレッシュイチゴとドールのフレッシュマンゴスムージーカクテル	
15,16	【座学】⑤ビールについて 【実技】包丁のカットを学ぶ	パイナップルカット (テーブルで1個)	
17,18	【座学】⑥紅茶について 【実技】メキシコのバー料理、シーザーサラダ	シーザーサラダ	
19,20	【座学】⑦コーヒーについて 【実技】ハードシェイク、ホットカクテル作り	抹茶ラテ・紅茶ラテ・チョコバナナ	
21,22	【座学】⑧料飲全般の問題 【実技】りんごのカービング	りんごのカッティング	
23,24	【座学】世界一のサービスマンに学ぶ(VTR) 【実技】フルーツポンチ	フルーツポンチ	
25,26	【座学】クリームについて学ぶ(VTR) 【実技】オレンジカット・キウイカット	オレンジカット・キウイカット	
27,28	【座学】定期試験対策 【実技】自家製ジンジャーエール ピンクグレープフルーツモヒート	自家製ジンジャーエール ピンクグレープフルーツモヒート	
29,30	定期試験(座学で行った内容ベース)	自家製ジンジャーエールの試飲	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	BR国家検定対策3級 I	担当名	山岸 智恵子
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネートに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネート技能検定試験】に合格すること。
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネートの経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネート技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施いたします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	I ブライダルコーディネーターとは/1章:定義・必要な知識と能力 2章:企画提案に必要な要素	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	テキストエキスパートP14～18を読む
2	2章の2～ブライダルセールス、クロージングと成約、打合せ業務、オペレーション 3章:ブライダルビジネスのコミュニケーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP18～25読む
3	3章の3～コミュニケーションにおける印象づくりと敬語 4章:ホスピタリティ	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP25～32読む
4	II ブライダルビジネスにおけるヒアリング(新規・成約)における基本的姿勢、手法の概略	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP34～52読む
5	III プランニング(新規・成約)における手法、特徴	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP54～89読む
6	IVブライダル商品の特徴を理解する/プレゼンテーション(新規・成約)、成約手続き	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP92～100読む
7	V 手配業務(ペーパーアイテム・衣装・挙式・披露宴・演出・装花)、VI 当日業務(コーディネーター役割・アテンド業務)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP122～146読む
8	I～VIまでの重要ポイントのみ振り返りアウトプットする VIIブライダル市場の規模と特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP14～146復習
9	VIIブライダル市場の規模と特性/業種・業態、関連業種、集客チャネル、エリア特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP148～172読む
10	VIII経営管理/コンプライアンス、トラブル対処	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP216～235読む
11	X-1ブライダル基本知識/結婚の定義・日本の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP238～250読む
12	X-2ブライダル基本知識/海外の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP251～259読む
13	X-3ブライダル基本知識/見合い・婚約・結納	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP260～277読む
14	X-4ブライダル基本知識/結婚式・披露宴・二次会・新婚旅行 /定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP278～299読む
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキスト復習、ワークブック見直し

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	BR国家検定対策3級 I	担当名	山岸 智恵子
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格すること。
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施いたします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること（※第5回以降PC必須となります。）

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	X-5ブライダル基本知識/料理・飲み物、トータルコーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP300～305読む
2	X-5ブライダル基本知識/衣装(洋装・和装・格式等々)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP308～325読む
3	X-6ブライダル基本知識/ヘアメイク・フラワーアイテム、会場コーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP326～340読む
4	X-7ブライダル基本知識/ペーパーアイテム、引出物、引菓子、音響照明、司会、写真、映像、記念アイテム	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP341～353読む
5	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
6	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
7	実技試験対策 /解説(結納品実物確認)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
8	実技試験対策 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
9	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
10	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
11	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し、国トレ
12	国家検定過去問題/解説・国家検定直前対策(実技含)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し、国トレ
	【国家検定試験】		
13	国家検定試験振り返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、見直し
14	定期試験対策 /テキスト振り返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	オリジナルプランニング I	担当名	和田 翔太郎
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	新郎新婦に合わせたオリジナルプランニングを提案するための、基礎知識・感性・調査力・想像力・プレゼン力・チームワークを磨く過程で、ウェディングプランナーとしての心構えや、自ら問題提起をして解決へ導く自主性を確立する				
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、10年以上のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て「本当に喜ばれるウェディングとは何か」への理解を深める講義演習を実施する。				
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	筆記用具・PC				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション・タイプ診断 【自分自身について知る】	筆記用具、PC	なし
3,4	理想のプランナー像 強みを強みとして伝えるように伝える 【相手に伝える】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5,6	コンセプトメイクの本質 ヒアリング 【相手のことを知る】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
7,8	コンセプトメイクの本質 提案 【相手の想像を越える】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
9,10	既存式場のハード面のオリジナリティ 【調査研究力】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
11,12	既存式場のハード面のオリジナリティ 【プレゼンテーション力】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
13,14	新郎新婦に合わせたオリジナリティと配慮 マタニティ・少人数・LGBTQ etc 【多様性のウェディング】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
15	定期試験	筆記用具、配布資料	全授業の復習

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	オリジナルプランニングⅡ	担当名	和田 翔太郎
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	新郎新婦に合わせたオリジナルプランニングを提案するための、基礎知識・感性・調査力・想像力・プレゼン力・チームワークを磨く過程で、ウェディングプランナーとしての心構えや、自ら問題提起をして解決へ導く自主性を確立する
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、10年以上のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て「本当に喜ばれるウェディングとは何か」への理解を深める講義演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具・PC 前期オリジナルプランニングの授業と両方取ることを推奨

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	フリープランナーという働き方 オリジナルウェディングとブライダル業界	筆記用具、PC	なし
3,4	プランナーのブランディング クリエイターとのチームメイク	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5,6	ゼロから作るオリジナルウェディング 準備編① ゼロからのタイムスケジュール	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
7,8	ゼロから作るオリジナルウェディング 準備編② ゼロからの見積もり	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
9,10	ゼロから作るオリジナルウェディング 【調査研究】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
11,12	ゼロから作るオリジナルウェディング 【資料制作】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
13,14	ゼロから作るオリジナルウェディング 【プレゼンテーション リハ】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
15	ゼロから作るオリジナルウェディング 【プレゼンテーション】	筆記用具、PC	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ホテルマネジメント I	担当名	青木拓人
		講義	・ 演習 ・	実技	実習
		単位/時間数	2単位	30	時間

到達目標	ホテルの組織構造や各部門の役割を理解し、ホテル運営の基本的な仕組みを説明できるようになる。 また、接客・サービスの基礎を体験的に学び、ホテルスタッフとして必要な基本姿勢を身につける。
学習内容	ホテルの部門構成や業務の流れ、スタッフの一日の働き方を学ぶ。 チェックイン対応やクレーム対応、外国人ゲスト対応などをロールプレイ形式で体験し、現場感覚を養う。 さらに、簡単な経営シミュレーションやチームでのホテル企画を通じて、ホテル運営の基礎を理解する。 日本最大級の結婚式場でバンケットマネージャー、ホールマネージャーの経歴をもつ講師が担当する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は演習プレゼンテーション試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ホテル運営の全体像	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
2	部門構成ーフロント・客室・料飲	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
3	働き方ースタッフの一日	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
4	チェックインー接客基本動作	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
5	クレーム対応ー初期対応と姿勢	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
6	外国人対応ーやさしい英語接客	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
7	経営基礎ー収支の考え方	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
8	ホテル経営①ーコンセプト設計	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
9	ホテル経営②ー発表と評価	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
10	魅力発信ーホテルCM企画	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
11	撮影ー動画制作	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
12	編集ーPR・プレゼン資料完成	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
13	発表1ープレゼンテーション	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
14	発表2ープレゼンテーション	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習
15	まとめ	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、 自宅学習

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	科目名
		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習
		担当名
		青木拓人
		単位/時間数
		2単位 30 時間

到達目標	ホテル運営における人材管理、サービス品質管理、安全・衛生管理の重要性を理解し、チームでの運営を意識した考え方ができるようになる。 また、トラブル対応やリスク管理を含め、実務に近い視点でホテルマネジメントを捉えられるようになる。
学習内容	ホテルの組織運営、人材育成、チームワークの重要性について学ぶ。 サービス品質向上の考え方、顧客満足度調査、クレーム対応の実践、安全管理(防災・衛生・情報管理)をケーススタディやワークを通じて習得する。 最終的には「理想のホテル運営」をテーマにしたチーム企画・発表を行い、総合的なマネジメント理解を深める。 日本最大級の結婚式場でバンケットマネージャー、ホールマネージャーの経歴をもつ講師が担当する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は演習プレゼンテーション試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	前期内容整理	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
2	組織図－部門連携	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
3	シフト管理－労務理解	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
4	人材育成－研修設計	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
5	チームワーク－協力体制	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
6	働きやすさ－モチベーション	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
7	サービス品質－見える／見えない	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
8	顧客の声－アンケート活用	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
9	クレーム管理－再発防止	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
10	防災－災害対応	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
11	衛生管理－清掃・感染対策	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
12	情報管理－セキュリティ	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
13	理想の運営① 運営企画	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
14	理想の運営② 発表準備	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習
15	総合発表	IMSAテキスト・プリントなど	授業内容に応じて、自宅学習

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	科目名
		ドレスデザイン 1
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名
		北沢 聡子
		単位/時間数
		2単位 30時間

到達目標	メンテナンス全体の技術を駆使し、お客様への適切なアドバイス・メンテナンス技術を提供できる。発案製作したという自信に繋げグループワークを達成する
学習内容	廃棄ドレスを使いウエディングシーンのテーマ・コンセプトを作りメンテナンス技術を駆使して新しいドレスに蘇らせる 企業でウェディングドレスのデザイナーやコーディネーターの経歴をもつ講師が担当する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の授業の後、進展状況を記述する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	授業の目的・流れ、オリエンテーション	筆記用具	ウエディングドレスの傾向を調べる
2	モデル決定、テーマコンセプトドレス選び	ドレス、パソコン	ウエディングシーンの傾向を調べる
3	デザイン画・工程表作成	ドレス、パソコン	採寸の復習
4	採寸・裁断開始 小物製作同時進行	ドレス、メジャー、裁縫道具	小物の傾向を調べる
5	パーツのトワル仮縫い	ドレス、メジャー、裁縫道具	製作に対する質問を明確にしておく
6	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
7	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
8	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
9	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
10	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
11	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
12	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
13	小物・アクセサリーチェック、リハーサル	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
14	仕上げ・復習	ドレス・裁縫用具	メンテナンスの復習をする
15	定期試験	筆記用具	

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	科目名
		ドレスデザインⅡ 講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名
		北沢 聡子
		単位/時間数
		4単位 60 時間

到達目標	メンテナンス全体の技術を駆使し、お客様への適切なアドバイス・メンテナンス技術を提供できる。発案製作したという自信に繋げる
学習内容	前期やってみてわかった事を反省点として、廃棄ドレスを使い披露宴のテーマ・コンセプトを作りメンテナンス技術を駆使して新しいドレスに蘇らせる 企業でウェディングドレスのデザイナーやコーディネーターの経歴をもつ講師が担当する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の授業の後、進展状況を記述する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	前期の反省、やってみてわかった事	筆記用具	お色直しの傾向を調べる
3,4	モデル決定、テーマコンセプトドレス選び	ドレス、パソコン	披露宴の傾向を調べる
5,6	デザイン画・工程表作成	ドレス、パソコン	採寸の復習
7,8	採寸・裁断開始 小物製作同時進行	ドレス、メジャー、裁縫道具	小物の傾向を調べる
9,10	パーツのトワフル仮縫い	ドレス、メジャー、裁縫道具	製作に対する質問を明確にしておく
11,12	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
13,14	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
15,16	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
17,18	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
19,20	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
21,22	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
23,24	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
25,26	小物・アクセサリーチェック、リハーサル	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
27,28	仕上げ	ドレス・裁縫用具	メンテナンスの復習をする
29,30	定期試験	筆記用具	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	会場コーディネートⅠ	担当名	遠藤 智緒里
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間
到達目標	ウェディングに関わるフローリストや空間コーディネーターとして必要なスキルをブラッシュアップする。空間やテーマにあったデザインを企画し、企画書・提案書を作成、プレゼンテーション・打合せをするテクニックを身に着ける。打合せ後は受注書を作成し、フラワーコーディネーターとしての業務スキルを身に着ける。				
学習内容	ウェディング装花や、ゼクシィなどに掲載の、空間コーディネートを担うウェディングスタイリストから、空間コーディネーターに関わる、応用的なスキル(デザイン・企画書・提案書・プレゼンテーション)と、ビジネススキル(打合せ・受発注)を習得する。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する				
	評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	テキスト・筆記用具・パソコンを持参すること				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション 空間コーディネートとは	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	
3,4	空間コーディネートの企画提案とは 人気エリアの空間コーディネートとは【青山・銀座】	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	青山・表参道の下調べ
5,6	【青山・表参道】空間コーディネート視察	スマートフォン	レポート
7,8	スプリングウェディングの提案書／オリジナルフラワー デザイン／プレゼンテーション	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE 水彩・色鉛筆・マーカー等	
9,10	サマーウェディングの提案書／オリジナルフラワーデ ザイン／プレゼンテーション	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE 水彩・色鉛筆・マーカー等	
11,12	オータムウェディングの提案書／オリジナルフラワー デザイン／プレゼンテーション	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE 水彩・色鉛筆・マーカー等	
13,14	ウインターウェディングの提案書／オリジナルフラワー デザイン／プレゼンテーション	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE 水彩・色鉛筆・マーカー等	銀座の下調べ
15,16	【銀座】空間コーディネート視察	スマートフォン	レポート
17,18	フラワーカウンセリング→コンセプトシートの作成	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	
19,20	プレゼンテーション→受注書の作成	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	
21,22	衣装と空間のコーディネート	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	
23,24	テーマカラーと空間のコーディネート	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	
25,26	リゾートウェディングの空間コーディネート	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	試験用空間コーディネートをイメージしてくる
27,28	定期試験(空間コーディネート提案書) パーティスペースの空間デザイン	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	
29,30	パーティスペースの空間コーディネート／パーティ	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE ハサミ等	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	会場コーディネートⅡ	担当名	五十嵐倫子
			講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60時間

到達目標	フローリストとしてウェディングの用語ややるべきことを理解し実際の現場において円滑なコミュニケーションを取り思い描くウェディングを実行できるように到達する。
学習内容	装花、コーディネート、セッティング、打合せなど現在も実践中の為リアルなものを伝え、ウェディングのことを理解しクオリティーの高い心のこもった対応のできる人になれるような講義を実践する。有名花材店での経験がある一級フラワー装飾技能士が担当する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション。この授業の目標点について。 それぞれが思い描く夢、目標などを作成	筆記用具、色鉛筆、ハサミ	授業内容に応じて自宅学習
3,4	フローリストの仕事について。 やるべきことを考える	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
5,6	新郎新婦様の希望を引き出すヒアリング練習。 隣同士で実践する。	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
7,8	フローリストが行う打合せについて。コンセプトシート作成	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
9,10	コミュニケーション力を身につける。 必要とされるフローリスト	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
11,12	ウェディングにおける装飾スタイルについて	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
13,14	打合せのロープレ(花のカラー種類を伝えられる)	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
15,16	打合せのロープレ(新郎新婦様が望む打合せ力)	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
17,18	前回の振り返り。 打合せ通りの装飾、フラワー作成まで図にし完成させる	筆記用具、色鉛筆	授業内容に応じて自宅学習
19,20	コンセプトシートの卓上フラワー作成	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
21,22	コンセプトシートのブーケ作成	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
23,24	決めたテーマのフラワー作成、ラッピング、お包み練習	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
25,26	全員でウエルカムボードや受付テーブル、ブライズルーム装花作成	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
27,28	披露宴の流れを再確認、好きな花作成	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
29,30	定期試験	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ブライダル撮影Ⅲ	担当名	末吉康祐
			講義 ・ 演習 ・ 実技 実習	単位/時間数	2単位 60 時間

到達目標	婚礼当日の基本的な進行およびブライダル撮影の基礎知識を説明できる。基本的なカメラ操作を行い、指導のもとで適切な設定を選択できる。Lightroomを用いて基礎的な写真編集を行うことができる。また、婚礼現場にふさわしいマナーを示すことができる。
学習内容	ブライダル歴8年の現場経験をもとに、さまざまな会場で培った進行の流れやルールへの理解力を活かし、実践的なブライダル撮影の基礎と応用を伝える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	カメラ機材一式の持参必須

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	第1章 ブライダルカメラマンのマインドセット（立場編） — 婚礼現場における役割と責任、プロとしての姿勢について	講師作成資料（自身の役割の定義）	授業内容に応じて、 自宅学習
3,4	第1章 ブライダルカメラマンのマインドセット（重み編） — 一生に一度を扱う責任	講師作成資料（やり直しのきかない現場）	授業内容に応じて、 自宅学習
5,6	第1章 ブライダルカメラマンのマインドセット（本質編） — 選ばれ続けるカメラマンの条件	講師作成資料（信頼・姿勢・在り方が評価される）	授業内容に応じて、 自宅学習
7,8	第1章 ブライダルカメラマンのマインドセット（黒子編） — 邪魔にならない動きと立ち位置の判断	講師作成資料（進行の妨げと立ち位置への意識）	授業内容に応じて、 自宅学習
9,10	第2章 会場 — 各会場の進行・動線・ルールを把握する	講師作成資料（会場理解） 参考資料	授業内容に応じて、 自宅学習
11,12	第2章 会場 — おふたりの希望を現場で再現する力	講師作成資料（要望書読解） 参考資料	授業内容に応じて、 自宅学習
13,14	第3章 第1節 カメラの基礎操作 — 露出の理解と構図の基本	講師作成資料（露出の3要素とブライダルの構図）	授業内容に応じて、 自宅学習
15,16	第3章 第1節 カメラの基礎操作（ピント合わせ編） — AF設定と被写体の捉え方	講師作成資料（AFのシステムの理解とその使い分け）	授業内容に応じて、 自宅学習
17,18	第3章 第1節 カメラの基礎操作（光の理解編） — 自然光・室内光への対応	講師作成資料（光の当たり方と色の変化）	授業内容に応じて、 自宅学習
19,20	第3章 第1節 カメラの基礎操作（ストロボ編） — 発火の仕組みとバウンスの基本	講師作成資料（ストロボの光量とバウンスさせる重要性）	授業内容に応じて、 自宅学習
21,22	第3章 第2節 RAW現像の基礎操作 — Lightroom Classicの基本的な使い方	Lightroom Classic	授業内容に応じて、 自宅学習
23,24	第3章 第2節 RAW現像の基礎操作 — Lightroom Classicの応用編	Lightroom Classic	授業内容に応じて、 自宅学習
25,26	第4章 コミュニケーション（お二人編） — 良い写真を生み出すコミュニケーション実践	講師作成資料（メイクシーン、イメージカット、その他）	授業内容に応じて、 自宅学習
27,28	第4章 コミュニケーション（会場スタッフとの連携編） — チームで式を支えるための役割理解	講師作成資料（プランナー、キャプテン、美容、介添、ビデオ）	授業内容に応じて、 自宅学習
29,30	定期試験（筆記）		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ブライダル撮影Ⅳ	担当名	末吉康祐
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 60 時間

到達目標	ブライダル撮影における基礎知識を基に、ストロボを用いた撮影や状況に応じた撮影方法を選択・実施できる力を養う。また、メディア管理の重要性や集合写真・グループ撮影の進行と立ち位置を理解し、婚礼現場に即した撮影行動を行うことができることを目標とする。
学習内容	ブライダル歴8年の現場経験をもとに、さまざまな会場で培った進行の流れやルールへの理解力を活かし、実践的なブライダル撮影の基礎と応用を伝える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) 定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	カメラ機材一式の持参必須

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	第5章 正しい行動（メディア管理編） － 一生に一度の写真を守るためのデータ管理とバックアップ	講師作成資料（いつ、どこに、どのように）	授業内容に応じて、自宅学習
3,4	第5章 正しい行動（対応・対処編） － 撮影時のNG行動と撮り漏れた時の対処法	講師作成資料（ミスをミスで終わらせない）	授業内容に応じて、自宅学習
5,6	第6章 レンズの理解（ズームレンズ編） － 焦点距離による画角の変化とシーンに応じたレンズワーク	講師作成資料（被写体との間合いを測ろう）	授業内容に応じて、自宅学習
7,8	第6章 レンズの理解（ズームレンズ編） － 焦点距離による画角の変化とシーンに応じたレンズワーク	講師作成資料（被写体との間合いを測ろう）	授業内容に応じて、自宅学習
9,10	第6章 レンズの理解（単焦点レンズ編） － 開放F値とボケ表現を活かした写真表現	講師作成資料（焦点距離と特性を理解し、）	授業内容に応じて、自宅学習
11,12	第7章 人物撮影の心得 － 指示・配置整理・声かけによるお二人写真・グループ写真・集合写真の撮影	講師作成資料（ディレクションとはなににか）	授業内容に応じて、自宅学習
13,14	第8章 ライティング（ストロボ理解編） － ストロボの仕組みと瞬間光の特性を理解する	講師作成資料（ストロボをしっかりと理解し）	授業内容に応じて、自宅学習
15,16	第8章 ライティング（露出コントロール編） － 瞬間光を前提としたストロボ露出の考え方	講師作成資料（カメラ露出とストロボの光量で見えてくる表現）	授業内容に応じて、自宅学習
17,18	第8章 ライティング（光のバランス編） － 自然光・環境光とストロボを組み合わせた光の作り方	講師作成資料（ストロボと環境光で足し算と引き算をする）	授業内容に応じて、自宅学習
19,20	第9章 シャッターチャンスを見逃すな － 進行から感情が動く瞬間を読み取る	講師作成資料（感動は突然訪れる）	授業内容に応じて、自宅学習
21,22	第9章 シャッターチャンスを見逃すな － 決定的瞬間を逃さない準備と判断	講師作成資料（ポジション取りとカメラ設定）	授業内容に応じて、自宅学習
23,24	第9章 シャッターチャンスを見逃すな － 一瞬を逃さない撮り方	講師作成資料（意識すべき3つのこと）	授業内容に応じて、自宅学習
25,26	第11章 校外授業（ウェディングの現場を見てみよう）	講師作成資料	授業内容に応じて、自宅学習
27,28	第11章 校外授業（ウェディングの現場を見てみよう）	講師作成資料	授業内容に応じて、自宅学習
29,30	定期試験（実技）		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	フォトムービー編集Ⅲ
		講義	・演習・実技・実習
		担当名	森岡 愛
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	映像の基礎知識、撮影・編集技術を学び 婚礼を中心とした現場で即戦力として活躍できる人材の育成
学習内容	ウェディングの映像を基本とし、その他企業案件にも対応できる知識・技術の習得 企業のカメラマン、ブライダルビデオグラファーを経て、フリーランスで活動している講師が担当する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	ノート・筆記用具・スマートフォン・カメラ(バッテリー)編集用PC・イヤホンを持参する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	2年生振り返り	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
3,4	remiereProを使用しての実際の結婚式の動画編集	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
5,6	remiereProを使用しての実際の結婚式の動画編集	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
7,8	ブライダル本番を想定した撮影技術(メイク・挙式)	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
9,10	ブライダル本番を想定した撮影技術(披露宴)	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
11,12	ブライダル本番を想定した撮影技術(披露宴)	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
13,14	PremiereProを使用しての動画編集	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
15,16	記録とダイジェストの違いを考える①	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
17,18	記録とダイジェストの違いを考える①	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
19,20	ダイジェストを完成させる	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
21,22	ダイジェストを完成させる	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
23,24	Photoshopを使った画像編集を学ぶ①	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
25,26	Photoshopを使った画像編集を学ぶ②	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
27,28	定期試験対策	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
29,30	定期試験	筆記用具、カメラ、パソコンmac	

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	フォトムービー編集Ⅳ
		講義	・演習・実技・実習
		担当名	森岡 愛
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	映像の基礎知識、撮影・編集技術を学び 婚礼を中心とした現場で即戦力として活躍できる人材の育成
学習内容	ウェディングの映像を基本とし、その他企業案件にも対応できる知識・技術の習得 企業のカメラマン、ブライダルビデオグラファーを経て、フリーランスで活動している講師が担当する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	ノート・筆記用具・スマートフォン・カメラ(バッテリー)編集用PC・イヤホンを持参する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オープニング映像の作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
3,4	オープニング映像の作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
5,6	オープニング映像の作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
7,8	エンドロール作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
9,10	エンドロール作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
11,12	エンドロール作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
13,14	エンドロール作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
15,16	PremiereProを使用してのプロフィール作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
17,18	PremiereProを使用してのプロフィール作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
19,20	PremiereProを使用してのプロフィール作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
21,22	ブライダル本番を想定した撮影技術	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
23,24	ブライダル本番を想定した撮影技術	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
25,26	卒業制作	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
27,28	卒業制作	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
15	卒業制作	筆記用具、カメラ、パソコンmac	

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	BR国家検定対策2級 I
		講義・演習・実技・実習	担当名 山岸 智恵子
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネート職種における中級の技能者が有すべき技能及びこれに関する知識を習得し【2級ブライダルコーディネート技能検定試験（中級レベル）】に合格する
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネートの経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネート技能検定試験（中級レベル）】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する 評価　　GPA　　合計点数 A　　－　4.0　　90点～100点 B　　－　3.0　　80点～89点 C　　－　2.0　　70点～79点 D　　－　1.0　　60点～69点 E　　－　出席不良 F　　－　0.0　　59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と筆記用具を持参すること　（※第13回以降PC必須となります。）

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	I ブライダルコーディネーターとは/1章:定義・必要な知識と能力/2章:企画提案に必要な要素	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキストエキスパートP14～18を読む
2	2章の2～ブライダルセールス、クロージングと成約、打合せ業務、オペレーション 3章:ブライダルビジネスのコミュニケーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP18～25を読む
3	3章の3～コミュニケーションにおける印象づくりと敬語について、4章:ホスピタリティ	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP25～32読む
4	II ブライダルビジネスにおけるヒアリング(新規・成約)における基本的姿勢、手法の概略	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP34～52読む
5	III プランニング(新規・成約)における手法、特徴	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP54～89読む
6	IVブライダル商品の特徴/プレゼンテーション(新規・成約)の概略、成約手続き	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP92～100読む
7	V 手配業務(ペーパーアイテム・衣装・挙式・披露宴・演出・装花)、VI 当日業務(コーディネーター役割・アテンド業務)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP122～146読む
8	VIIブライダル市場の規模と特性/業種・業態、関連業種、集客チャネル、エリア特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP148～172読む
9	VIII経営管理/マネジメント業務、計数管理、顧客マネジメント、マーケティング、集客のためのプロモーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP174～204読む
10	VIII経営管理/ペーパーワーク、リスク管理、コンプライアンス IXトラブル対処/種類、クレーム対応の基本	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP208～235読む
11	Xブライダル基本知識/結婚の定義、日本の結婚式の歴史と文化、海外の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP238～259読む
12	Xブライダル基本知識/見合い・婚約・結納、結婚式・披露宴・二次会・新婚旅行	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP260～299読む
13	I～VI振り返りアウトプット/模擬試験①・解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP14～146読む
14	VII～X振り返りアウトプット/模擬試験②/定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP148～299読む
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキスト復習、ワークブック見直し

対象学科	ウェディング科			
対象学年	3 学年	科目名	BR国家検定対策2級Ⅱ	担当名 山岸 智恵子
			講義・演習・実技・実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーター職種における中級の技能者が有すべき技能及びこれに関する知識を習得し【2級ブライダルコーディネーター技能検定試験(中級レベル)】に合格する
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験(中級レベル)】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と筆記用具を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	Xブライダル基本知識/料理・飲み物、トータルコーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP300～305読む
2	Xブライダル基本知識/衣装(洋装・和装・格式等々)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP308～325読む teamsアップの過去問トライ
3	Xブライダル基本知識/ヘアメイク・フラワーアイテム、会場コーディネーターの考え方/過去問解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP326～340読む
4	Xブライダル基本知識/ペーパーアイテム、引出物、引菓子、音響照明、司会、写真、映像、記念アイテム	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP341～353読む teamsアップの過去問トライ
5	国家検定過去問・単語記述問題	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
6	解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
7	国家検定過去問・単語記述問題対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
8	解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
9	国家検定過去問・単語記述問題対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
10	解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
11	国家検定過去問・単語記述問題対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
12	解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
13	国家検定過去問・単語記述問題対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
14	2級国家検定(学科)直前対策/定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	現場実習Ⅲ	担当名	岡覚子/霜井里奈
			講義 ・ 演習 ・ 実技 実習	単位/時間数	6単位 180 時間

到達目標	職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守ることだけではなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。
学習内容	現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
実習では目標を設定して臨む必要があります。目標としては以下のような視点が挙げられます。個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。 ①自分の性格の特長に関心を持ち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方角・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わるができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる	実習先の事前理解

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	現場実習Ⅴ	担当名	岡覚子/霜井里奈
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	6単位 180 時間

到達目標	職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守ることだけではなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。
学習内容	現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S — 合格 U — 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
実習では目標を設定して臨む必要があります。目標としては以下のような視点が挙げられます。個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。 ①自分の性格の特長に関心を持ち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方角・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わることができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる	実習先の事前理解

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	ドレスショーⅠ 産学連携プロジェクトⅠ	坂田、霜井、岡
		講義 演習 実技 ・ 実習	12単位 180 時間

到達目標	提案した企画書に沿って、計画・準備し、ブライダル業界の課題解決に向けた新しいスタイルのドレスショーを実施できる
学習内容	ホテル等の外部会場でドレスショーを開催する。そのための企画、準備、演出、構成等の準備をおこない、本番では観客を入れて企業からの課題に応えた学生が考えたドレスショーをおこなう。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	自分の役割で主体性を発揮するとともに、他の役割の学生とも連携を図る。

授業内容(予定)	学習の準備など
・ドレスフィッティング～ドレスの魅力とは ・現状のドレスショーの課題や問題点の抽出 ・ドレスショーの課題や問題点の発表 ・講義～音響・照明について ドレスショー企画書作成の説明 ・ドレスショーの企画書作成①～コンセプト設定 ・ドレスショーの企画書作成② ～集客方法・パンフレット ・ドレスショーの企画書作成③～構成 ・ドレスショーの企画書作成④～衣装 ・ドレスショーの企画書作成⑤ ～モデルの動き・ポージング ・ドレスショーの企画書作成⑥～音響・照明 ・ドレスショーの企画書の完成、仕上げ ・中間プレゼンテーションのリハーサル ・中間プレゼンテーション ・中間プレゼンテーションの振り返り ブラッシュアップ ・ブラッシュアップした内容をプレゼン 前期の振り返りと後期にむけてのレポート作成	進行スケジュール等参照

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	ドレスショーⅡ 産学連携プロジェクトⅡ	坂田、霜井、岡
		講義 演習・実技・実習	12単位 180 時間

到達目標	提案した企画書に沿って、計画・準備し、ブライダル業界の課題解決に向けた新しいスタイルのドレスショーを実施できる
学習内容	ホテル等の外部会場でドレスショーを開催する。そのための企画、準備、演出、構成等の準備をおこない、本番では観客を入れて企業からの課題に応えた学生が考えたドレスショーをおこなう。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S — 合格 U — 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	自分の役割で主体性を発揮するとともに、他の役割の学生とも連携を図る。

授業内容(予定)	学習の準備など
・ドレスショーの企画発表 ドレスショー当日の役割分担 ・衣装選び ・衣装小物選び ・モデルの動き・ポージング(フィッティング) ・選定した衣装説明 ・司会進行について ・役割担当別① 司会原稿作成／ヘアメイクデッサン／ブーケ(ブートニア)デッサン／音響・照明／パンフレット制作 ・役割担当別② 司会原稿作成／モデルにヘアメイク・衣装フィッティング／ブーケ(ブートニア)制作／音響・照明／パンフレット制作 ・役割担当別③ 司会原稿作成／モデルにヘアメイク・衣装フィッティング／ブーケ(ブートニア)制作／音響・照明／パンフレット制作 ・役割担当別④ 司会原稿とBGMの合わせ／モデルにヘアメイク・衣装フィッティング・動き・ポージング／ブーケ(ブートニア)制作 ・司会、BGMにモデルの動き・ポージング合わせ練習 ・リハーサルの予行練習／衣装最終フィッティング ・ドレスショーの準備、最終チェック 後期の振り返りとドレスショーにむけてレポート作成	進行スケジュール等参照

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ハウスウェディング運営・実践Ⅰ 産学連携プロジェクトⅠ	担当名	福島、島野、青木 天野、霜井、岡
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	12単位 180 時間

到達目標	学内施設での本物の結婚式運営業務を学び、実践的な思考・行動を身に付ける。
学習内容	結婚式を企画段階から挙式まで現場と同様に自分たちでおこなうことで、実践力を発揮する集大成の内容。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価（合格・不合格）で成績を算出する 評価 S － 合格 U － 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	自分の役割で主体性を発揮するとともに、他の役割の学生とも連携を図る。

授業内容（予定）	学習の準備など
参加学生全員受講の授業とプランナー、フローリスト、ドレススタイリスト、フォトグラファーの各専攻別での授業を組み合わせる。 ハウスウェディングの事前理解から、打合せ、挙式当日までの準備、リハーサル、挙式当日、挙式後の業務、振り返りなどから、実際の結婚式を通じて現場力を身に付け、卒業後に活かせるようにする。 授業の内容やスケジュールはハウスウェディングの資料を参照	進行スケジュール等参照

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ハウスウェディング運営・実践Ⅱ 産学連携プロジェクトⅡ	担当名	福島、島野、青木 天野、霜井、岡
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	12単位 180 時間

到達目標	学内施設(エクラ)での本物の結婚式運営業務を学び、実践的な思考・行動を身に付ける。
学習内容	結婚式を企画段階から挙式まで現場と同様に自分たちでおこなうことで、実践力を発揮する集大成の内容。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S ― 合格 U ― 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	自分の役割で主体性を発揮するとともに、他の役割の学生とも連携を図る。

授業内容(予定)	学習の準備など
参加学生全員受講の授業とプランナー、フローリスト、ドレススタイリスト、フォトグラファーの各専攻別での授業を組み合わせる。 ハウスウェディングの事前理解から、打合せ、挙式当日までの準備、リハーサル、挙式当日、挙式後の業務、振り返りなどから、実際の結婚式を通じて現場力を身に付け、卒業後に活かせるようにする。 授業の内容やスケジュールはハウスウェディングの資料を参照	進行スケジュール等参照

対象学科	ウェディング科					
対象学年	3 学年	科目名	キャリア教育講座Ⅲ	担当名	霜井 理名	
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	位/時間	2単位 30 時間	
到達目標		キャリア目標が設定でき、キャリアの上で必要な能力、社会に出て働きたいキャリアのイメージを表現できるまでになる。社会への貢献を目指すキャリアの構築について明確にする。				
学習内容		JESC認定の教員カウンセラー資格を持つチューターや、業界に精通するキャリアセンター長から、職業人として求められる社会人基礎力と考える力、マネジメント力を高めることを目指して、講義を行う。				
成績評価の方法と基準		出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題レポートとする				
履修に当たっての留意点		※パソコンは必ず持参				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材・課題点	持ち物
1	3年生オリエンテーション	学生便覧 チームズ内資料にて	パソコン
2	就職活動と結婚式運営スケジュール学校のルールの再確認		
3	社会人基礎力① 何故働くのか	オリジナル教材	パソコン
4	社会人基礎力② 仕事とキャリアについて		
5	社会人基礎力③④キャリア形成の要素について	オリジナル教材	パソコン
6			
7	社会人基礎力⑤⑥自立・自律・自尊について	オリジナル教材	パソコン
8			
9	社会人基礎力⑦ チームの中で働く	オリジナル教材	パソコン
10	社会人基礎力⑧ チームビルディング		
11	後期授業に向けて	オリジナル教材	パソコン
12	社会人基礎力振り返りレポート作成		
13	卒業アルバム制作		
14			
15			